

# 株主の皆様へ

## 第74期のご報告

2022年4月1日から2023年3月31日まで

### 目次

当社グループの第74期における業績と今後の見通し……	1
財務諸表 ……………	3
フジックスグループNetwork ……………	4
会社の概況 ……………	5
株式の状況 ……………	5



おしゃれのとなりに  
株式会社 **フジックス**

証券コード：3600

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第74期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)における業績と今後の見通し等につきまして、下記のとおりご報告申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長 藤井 一郎

## 当社グループの第74期における業績と今後の見通し

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の行動制限及び入国に係る水際措置の緩和に伴い、インバウンド需要の増加も相俟って経済活動の回復が鮮明になってきましたが、国際情勢や円安基調を背景とした広範囲な物価の上昇が続いて、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが関連するアパレル・ファッション業界は、まだら模様ながら衣料品の消費回復に伴い、日本向け衣料品の生産は回復基調が続きましたが、手芸関連業界は、いわゆる巣ごもり消費からお出かけ消費への変化や、諸物価上昇の影響も受けて総じて低迷が続きました。

当社グループにおきましては、これらの状況に加えて、昨春以降の中国・上海地域におけるロックダウンを含む同国の新型コロナウイルス感染症の防疫措置や解除後の感染拡大により、工業用縫い糸の生産及び販売両面において大きな影響を受け、その後遺症も続いたため、日本国内での販売価格の改正効果や為替換算レートの円安基調など、増収要因もありましたが、当連結会計年度の売上高は、5,742百万円(前期比6.0%増)にとどまりました。

一方利益面につきましては、原材料やエネルギー価格を始め、製造コスト全般の予想以上の上昇に加えて、販売品目構成の変化などもあって、昨秋以降、販売価格改正を実施したにもかかわらず、売上高総利益率が低下し、営業損失は208百万円(前期は212百万円の損失)、経常損失は124百万円(前期は168百万円の損失)と、回復の見られぬ結果となりました。

また、上述の中国・上海地域のロックダウンによるおおよそ2ヶ月間にわたる中国子会社4社の操業停止期間の固定費80百万円及び、中国生産子会社の使用見込みのない遊休資産の減損損失47百万円を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失は188百万円(前期は164百万円の損失)となりました。

当連結会計年度におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりです。

### 日本

当社グループにおきましては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めております。

当期は、昨秋以降、新型コロナウイルス感染症対策の行動制限や入国に係る水際措置の緩和に伴い、衣料品消費も持ち直しが見られ、その生産も回復基調が続いたことや、中国における新型コロナウイルス感染症に対する防疫措置や円安基調の影響で、一部ながら国内生産への回帰も見られるなど、衣料用縫い糸の需要は回復傾向となったものの、中国・上海地域におけるロックダウンによる中国生産子会社の操業停止の影響を受けて、当社の受注回復は鈍いものとなりました。

またカーシート向けなど、車輻内装用縫い糸は、半導体不足や海外からの部品の調達難による自動車生産の減産の影響を受けました。

さらに国内が主な販売市場である手芸関連分野は、巣ごもり消費からお出かけ消費への変化や、諸物価上昇の影響で節約志向も高まるなど、総じて低迷が続き、家庭用縫い糸の受注も回復が見られませんでした。

このような状況のなか、製造コスト全般の上昇を受けて、昨秋以降には国内販売価格の改正を実施しましたが、当セグメントの売上高は4,497百万円(前期比5.5%増)にとどまりました。

一方利益面につきましては、増収には転じているものの、当社における原材料やエネルギー価格を始め、製造コスト全般の予想以上の上昇に加え、販売品目構成の変化による売上高総利益率の低下が響いて、販売価格改正を実施したにもかかわらず、セグメント損失は155百万円(前期は191百万円の損失)となり、回復が遅れております。

## アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当連結会計年度には、2022年1月から12月までの業績が連結されております。

当期におきましては、日本向け衣料品の生産は回復基調が続きましたが、昨春以降およそ2ヶ月にわたる中国・上海地域のロックダウンに伴う中国子会社の操業停止により、中国や日本のみならず、当セグメントに属するベトナム及びタイ国の各子会社におきましても、販売機会損失を余儀なくされるなど、大きな影響を受けました。

また操業再開後、一時生産高は回復しましたが、中国での防疫措置緩和後の新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響もあり、再び減産を余儀なくされました。

これらの状況から当セグメントの売上高は、為替換算レート変動による増収要因があったにもかかわらず、1,244百万円(前期比7.8%増)にとどまりました。

また、利益面につきましては、上述のとおり、中国子会社4社の2ヶ月にわたる操業停止の影響に加え、原材料やエネルギー価格、輸送費等の高止まりに加えて、販売価格への転嫁が困難なアジア市場の状況もあって、セグメント損失は49百万円(前期は20百万円の損失)となりました。

## 今後の見通しと取り組み

今後の見通しにつきましては、わが国におきましても本年5月8日をもって新型コロナウイルス感染症も感染症法上の位置づけが2類相当から5類に移行されるなど、世界各国はともに、いわゆる新型コロナウイルスとの共生の時代に入りました。

これを受けて、わが国の経済活動の回復もさらに進むことが期待されますが、一方で賃金が伸び悩むなかでの昨年来の諸物価の高騰が消費者の家計を直撃しつつあり、今後の国際情勢の不透明感も合わせて国内の個人消費の先行きが懸念される状況となっております。

当社グループが深く関わるアパレル・ファッション業界におきましても、今後は節約志向が強まるなど、消費マインドの腰折れが懸念されますとともに、手芸関連業界における消費は当面回復が見込めません。

一方当社グループの生産面におきましては、原材料価格やエネルギー価格の高止まりが続き、製造コストを圧迫するなど、当社グループの事業は、生産面、販売面ともに、引き続き厳しい事業環境が続くと予想されます。

当社グループといたしましては、中長期に対処すべき課題への取り組みのスピードアップを図るとともに、損失計上からの早期の脱却を喫緊の課題として、生産面、販売面における短期的な対策も講じてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2022年3月31日現在)	当連結会計年度 (2023年3月31日現在)	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	6,749	6,750	1
固定資産	4,026	4,166	140
有形固定資産	2,650	2,590	△ 60
無形固定資産	202	207	4
投資その他の資産	1,173	1,368	195
<b>資産合計</b>	<b>10,775</b>	<b>10,917</b>	<b>141</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	588	674	85
固定負債	741	779	37
<b>負債合計</b>	<b>1,330</b>	<b>1,453</b>	<b>123</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	7,900	7,642	△ 257
その他の包括利益累計額	798	1,096	298
非支配株主持分	747	725	△ 22
<b>純資産合計</b>	<b>9,445</b>	<b>9,464</b>	<b>18</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>10,775</b>	<b>10,917</b>	<b>141</b>

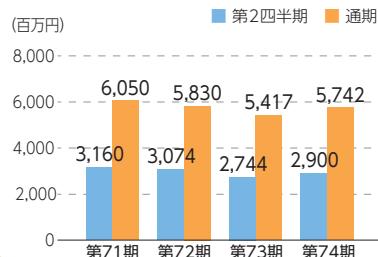
## 連結損益計算書

(単位：百万円)

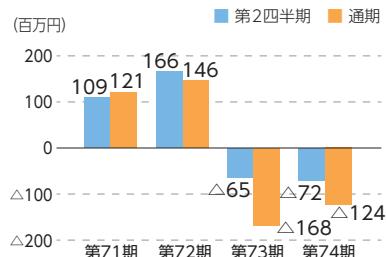
科目	前連結会計年度 (自 2021年4月 1 日 至 2022年3月31 日)	当連結会計年度 (自 2022年4月 1 日 至 2023年3月31 日)	増減
<b>売上高</b>	<b>5,417</b>	<b>5,742</b>	<b>324</b>
売上原価	4,064	4,387	323
<b>売上総利益</b>	<b>1,352</b>	<b>1,354</b>	<b>1</b>
販売費及び一般管理費	1,565	1,562	△ 3
<b>営業損失</b>	<b>212</b>	<b>208</b>	<b>4</b>
営業外収益	79	120	41
営業外費用	34	36	2
<b>経常損失</b>	<b>168</b>	<b>124</b>	<b>44</b>
特別利益	—	0	0
特別損失	0	130	130
<b>税金等調整前当期純損失</b>	<b>169</b>	<b>254</b>	<b>△ 85</b>
法人税・住民税及び事業税	22	23	0
法人税等調整額	△ 12	△ 26	△ 14
<b>当期純損失</b>	<b>178</b>	<b>250</b>	<b>△ 71</b>
非支配株主に帰属する 当期純損失	14	61	△ 46
親会社株主に帰属する 当期純損失	164	188	△ 24

注 国内連結子会社は2022年2月～2023年1月(1月決算)、海外連結子会社は2022年1月～12月(12月決算)の業績が連結されております。

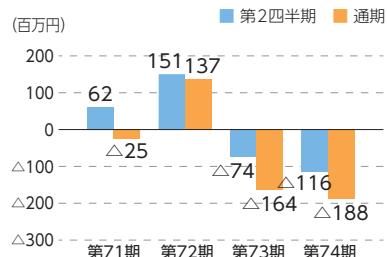
### 売上高



### 経常利益



### 純利益



# フジックスグループ Network



## 事業所

本	社 管理部・営業部 〒603-8322 京都市北区平野宮本町5番地 ☎075-463-8111
東京支店	営業部 東京都豊島区
滋賀事業所	生産部・物流部・研究開発室 滋賀県東近江市
東北物流センター	物流部門 秋田県横手市

## 連結子会社

国内	株式会社FTC (生産会社 京都 東京 岐阜)
	株式会社シオン (販売会社 秋田)
	株式会社ニットマテリアル (販売会社 山梨)
海外	上海富士克制線有限公司 (生産会社 中国・上海)
	上海富士克貿易有限公司 (販売会社 中国・上海)
	上海新富士克制線有限公司 (販売会社 中国・上海・大連・南通・北京)
	富士克國際(香港)有限公司 (販売会社 中国・香港)
	上海福拓線貿易有限公司 (販売会社 中国・上海)
	常州英富紡織有限公司 (生産会社 中国・溧陽)
	FUJIX VIETNAM CO.,Ltd. (販売会社 ベトナム・ホーチミン)
	FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd. (販売・生産会社 タイ・バンコク)

## 会社の概況

### 事業内容

フジックスグループは、社是を「誠実」とし、家庭用縫い糸及び工業用縫い糸、刺しゅう糸の製造販売を主たる事業として、ファッションや手作りホビーを裏方として支えております。フジックスの製品は家庭用・工業用を合わせると1300種類ものアイテムがあり、多いものでは数百色という色があるアイテムもあります。

また、これらの原材料及び半製品の販売や手芸関連商品、縫製副資材等の販売も行っております。

創 業	1921年（大正10年）3月
設 立	1950年（昭和25年）1月
従業員数	119名（連結402名） （2023年3月31日現在）

### ● 役員（2023年6月29日現在）

代表取締役	藤井 一郎	社長
常務取締役	松尾 勇治	管理部長
常務取締役	藤井 翔太	経営企画室長
取締役	上原 康裕	生産部長
取締役	伊藤 和夫	アパレル資材部長
取締役（監査等委員）	川嶋 伸久	
取締役（監査等委員）	吉田 薫	社外取締役
取締役（監査等委員）	山田 善紀	社外取締役

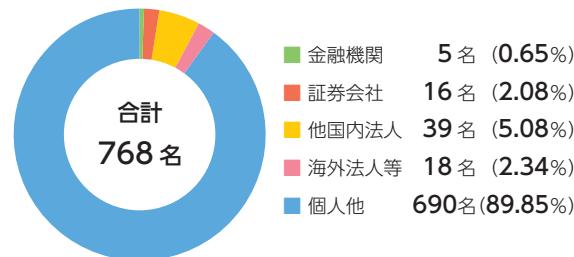
## 株式の状況（2023年3月31日現在）

発行可能株式総数	3,989,000株
発行済株式の総数	1,468,093株
株主数	768名
大株主	

	保有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社FJ興産	158,600	11.52
藤井太郎	98,400	7.15
鈴木直子	98,200	7.13
小原京子	86,000	6.25
藤井一郎	44,000	3.20
都築智子	37,200	2.70
柏阿里子	37,200	2.70
森本晶一	37,200	2.70
株式会社三井住友銀行	36,960	2.68
株式会社京都銀行	33,200	2.41

当社は、自己株式91,425株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を除外して計算しております。

### 株主分布状況



### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
基準日 定時株主総会・期末配当金：3月31日  
中間配当を行うとき：9月30日

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-782-031  
受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）

よくあるご質問 [https://faq-agency.smtb.jp/?site\\_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)  
(FAQ)

公告方法 電子公告としております。( <https://www.fjx.co.jp> )

## 「株主の皆様へ」 廃止のお知らせ

従来、年2回お送りしておりました「株主の皆様へ」につきましては、昨今高まりつつある地球環境等に配慮した省資源化の観点から、誠に恐縮ながら、今回の「株主の皆様へ 第74期のご報告」をもちまして発行を取りやめさせていただくことといたします。

株主・投資家の皆様への情報は、当社ホームページにて適時開示させていただいておりますので、今後は「定時株主総会招集ご通知」などとともにご参照いただけましたら幸甚でございます。

当社は今後もホームページ等での適時適正な情報発信に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」 <https://www.fjx.co.jp/ir/>



IRライブラリ



IR Q&A



IRカレンダー

## ホームページとSNSのご案内

株主の皆様に向けた株主総会に関するお知らせやIR情報を掲載しているサイトのほか、手作りファンのための情報サイト「そーいんぐ.COM」や当社の製品をご購入いただけるショッピングサイト「糸屋さん」がございます。また、広く当社のことを知っていただくためにTwitterやInstagramで、キャンペーン情報や新製品情報、手作り情報を発信しています。

○ホームページURL <https://www.fjx.co.jp>



@fujix\_info



@fujix\_info

